

一陽会彫刻部研修会

講演

若き彫刻家たちへ

国際活動のススメ

近年グローバル化が進む中、日本の彫刻家たちも海外に出て、いろいろな形の制作・発表活動が行われるようになりました。日本の文化を海外に紹介することは意義のあることであり、また参加した彫刻家も異文化に触れることで刺激を受け、作家として大きく成長することも確かです。今回の研修会は、国際シンポジウム、海外の画廊での発表、美術館等での個展、海外留学等について3人の講師に話題を提供してもらい彫刻家の国際活動について考える機会を設けました。

講師：朝野浩行氏 彫刻家・東京学芸大学教授

海外のシンポジウムについて

1963年大阪生まれ。1989年ディン国際石彫シンポジウム（フランス）。2003年第20回現代日本彫刻展。2010年海の見える社美術館 彫刻ビエンナーレ大賞。2012年セントジョン国際石彫シンポジウム（カナダ）。2014年第4回蕪湖国際石彫シンポジウム優秀賞（中国）。2015年ノイシュタッド トリエンナーレ国際彫刻シンポジウム（ドイツ）2017年第20回イチェオン国際彫刻シンポジウム（韓国）。現在、東京学芸大学教授。

活動発表 小林一夫（彫刻家・一陽会運営委員）

上海・台北アートのワンシーン

活動発表 中村義孝（筑波大学教授・一陽会運営委員）

海外留学及び海外展覧会開催について

日時：2017年 **12月3日**（日）

14:00～16:00

会場：**東京文化会館 中会議室 1**

〒110-0007 東京都台東区上野公園 5-45

TEL 03-3828-2111

聴講無料（どなたでも参加できます）

先着**40**名まで

主催 一陽会彫刻部